

ID No.	240
研究課題名	消化管上皮腫瘍形成における亜鉛トランスポーターの役割の解析
研究代表者	大橋 若奈 （富山大学大学院・助教）
研究組織	
受入教員	渡会 浩志 （東京大学医科学研究所・特任准教授）
研究分担者	長谷 耕二 （東京大学医科学研究所・客員教授）
	古澤 之裕 （東京大学医科学研究所・客員研究員）
研究報告書	
マウス由来の腸陰窩細胞サブセットにおいて、マクロアレイデータの解析を行い亜鉛トランスポーターの機能、特に細胞内ストレス応答への関与について着目し検討した。亜鉛トランスポーターの欠損により、腸陰窩細胞サブセットの中で、特に細胞周期の速い細胞において細胞内ストレスの増大が強く見られた。このことから、亜鉛トランスポーターは増殖に付随して生じる細胞内ストレス応答の制御を介して、細胞増殖を促進している可能性が高いと考えられる。現在、これらの研究結果を論文としてまとめており、今年度中には投稿できる見込みである。さらに、このような亜鉛トランスポーター介在性の増殖促進メカニズムの消化管腫瘍形成における役割について、大腸がんモデルマウスを利用した解析のための準備を進めている。	